

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ボラリスひろば福岡教室			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 11日		～	2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数)	27名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 11日		～	2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	他児とコミュニケーションを図れるような活動設定や過ごし方を促している。	他児と協力して準備や片付けを行う取り組みや集団で一つの目標に向かって参加出来る内容を検討している。休み時間には交流を図れるよう遊びに誘ったり、興味のある遊びを提供している。	集団で行動できるようになってほしい、様々な学年と関われるようになってほしいという保護者様の希望に沿うことが出来るよう課題を検討していく。
2	協応動作を含む動きに取り組んでいる。	SAQではマットやラダー、ハードルを使用し普段あまり使わないような動きをすることで身体の使い方を学べるようにしている。	児童たちが前向きに取り組める楽しい活動内容を職員間で相談し、実現していく。
3	様々な経験をし、知識や適応する力・考える力を身に付けられるようにしている。	外出行事、工作、調理実習などの行事設定を行い他児との交流、イレギュラーな事があった時の対応について勉強できるようにしている。	児童たちにボラリスのみんなでやりたい行事を聞いたり、会話の中からヒントをもらい実行できるようにしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウンスペースが限られている。	建物の構造上、個室が1つしか作ることが出来ない。	イレギュラーな事があっても気持ちを切り替えて取り組めることが良いが難しいときのために視覚的にしっかりと仕切れるスペースの確保が必要と感じる。
2	収納スペースの関係上、運動を行うとき机を片付ける場所が限られている。	教室内を広く使えるよう机を壁側に置き状況によりマットを立てかけているが危険性をすべて回避できているわけではない。	収納スペースを増やす、事前の声掛けを強化する等が必要と考えられる。
3	平日(下校後)に行事に取り組むことが難しい。	下校後カリキュラムが設定されている為、近くの公園に遊びに行くなどの臨機応変が難しい。	月に1回などランダムで行事以外の平日(下校後)に外出を検討しても児童たちのモチベーションアップに繋がりが良いかもしれない。